
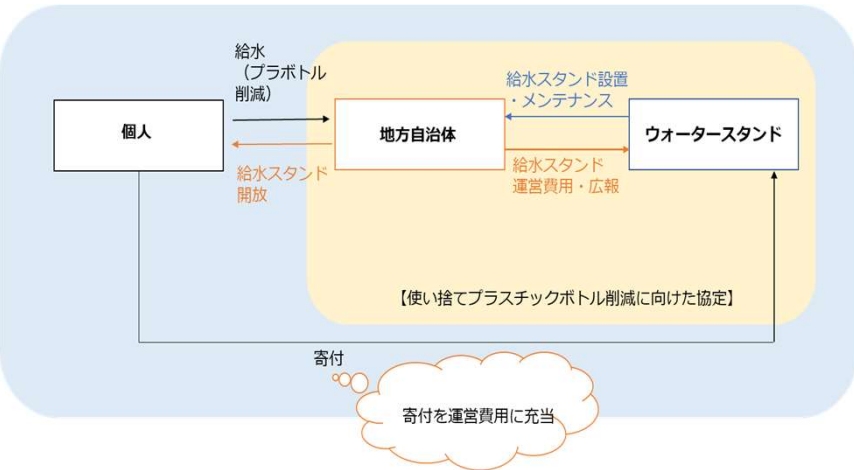


マイボトルの携帯と給水スタンド設置で取り組む使い捨てプラスチック削減		取組開始時期	2013年 8月	取組の カテゴリ	環境対策
------------------------------------	--	---------------	----------	---------------------------	------


1. 団体名	ウォータースタンド株式会社	2. 連携先の団体	京都市、鎌倉市、さいたま市、所沢市、葉山町
---------------	---------------	------------------	-----------------------

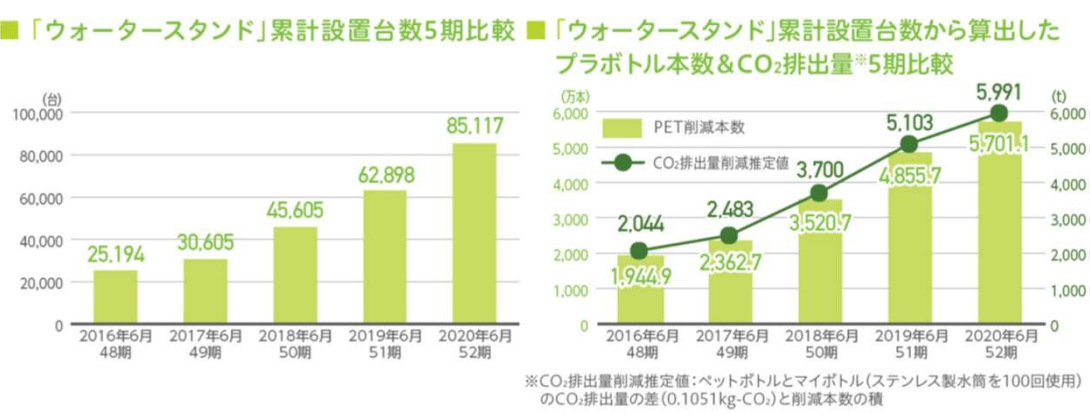
3. 取組目的	マイボトルの携帯とマイボトルへの給水により、使い捨てプラスチックに起因する環境負荷軽減や資源の有効活用に貢献するため	4. 関連するゴール	
----------------	--	-------------------	---

5. 取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）



地方自治体とプラスチックごみ削減の推進に関する連携協定を締結し、使い捨てプラスチックボトルに入った飲料水ではなくマイボトルへの給水と呼び掛ける取組です。このことにより水分補給による健康増進、廃棄物削減による行政コストの削減、地域美化などにポジティブな影響があります。2020年6月末までに地域の方にご利用頂ける給水スタンドを175台設置しています。使い捨てプラスチックボトルの削減本数30億本というターゲットに対しては、ウォータースタンド設置台数から推計した削減本数をもって進捗を開示しています。

●ウォータースタンドとは？

 当社は水道直結ウォーターサーバー「ウォータースタンド」をレンタルし、設置やメンテナンスを担っています。



現在、清涼飲料用PETボトル出荷本数は年間約250億本に上ります。また、ミネラルウォーター市場の市場規模は3080億円です。当社がレンタルしているウォータースタンドは、ボトル入り飲料水を工場生産する場合と同様のフィルターを使用しており、おいしいお水へのニーズと使い捨てプラスチックボトル削減という社会的ニーズを両方充足することができます。

取組のポイント（3つの視点）

地方創生SDGsの視点
 環境省の公表によると日本国内における産業廃棄物最終処理場の残余年数は16.4年とされています。持続可能な社会を実現するために「使い捨て」プラスチックを減らす取り組みは、資源の有効活用やこれまでのリニア型経済の見直し、廃棄物処理にかかる行政コストの福祉や医療への配分に繋がります。

ステークホルダーとの連携
 上記2.の連携先である地方自治体との協定締結について広報した際に、各地域の企業や大学などからマイボトルの携帯とマイボトルへの給水に賛同を頂くケースがあります。地域住民の方にとっては無料で給水できる点で参加・賛同しやすい取組であり、企業・大学・個人など多様なステークホルダーと連携しています。

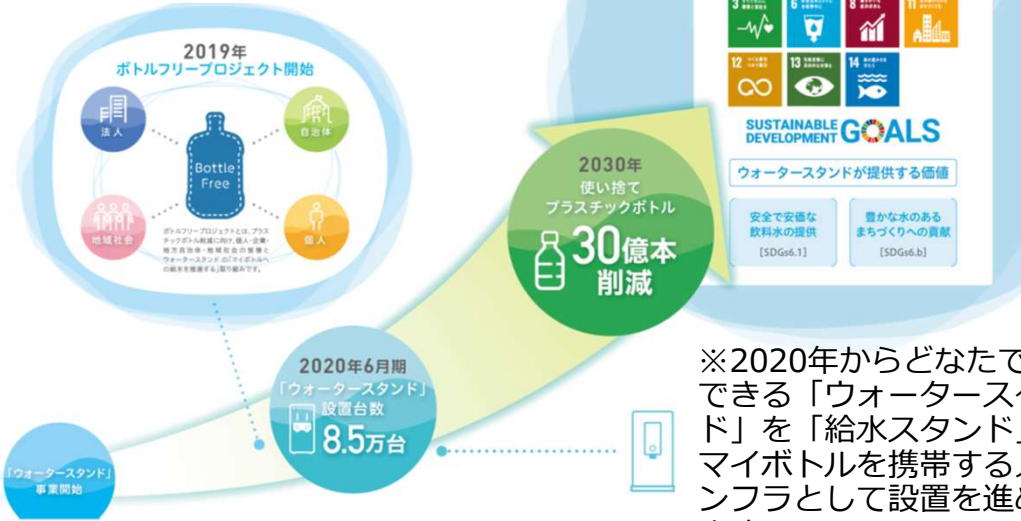
モデル性・波及性
 当社の調査によると大学生のマイボトル保有率は80%以上である一方、外出時にマイボトルへの給水をする人は少なく、自動販売機でボトル入り飲料水を購入し補充するケースが多いと聞かれます。高いマイボトル保有率を鑑みると、どの地域でも取り組むことのできる普遍性の高い活動であると考えられます。

自由記述欄

●2030年までに目指すべきゴールイメージ

目指す姿

ウォータースタンドは、パートナーシップによって持続可能な社会を実現すると同時に、長期的に信頼頂ける企業として持続的成長を目指します。



※2020年からどなたでも給水できる「ウォータースタンド」を「給水スタンド」としマイボトルを携帯する人のインフラとして設置を進めています。

●連携先の葉山町町長と弊社代表の対談



葉山町と締結した「プラスチックごみ削減の推進に関する協定」のあらまし

葉山町は、ゼロ・ウェイストに向けた「はやまクリーンプログラム」を推進されており、町内の公共施設における自動販売機でのプラスチックボトル入り飲料の販売を廃止しマイボトルの携帯を呼び掛けています。2019年9月、当社は同町と連携協定を締結し、公共施設8カ所に「ウォータースタンド」を設置しこの取り組みを後押ししています。

対談動画
配信中



こちらから動画をご覧ください→

<https://www.youtube.com/watch?v=Fc9YTeE-IWo&t=2s>

●連携先の地方自治体の取り組み

●さいたま市

さいたま市は、プラスチックごみ削減のため、マイボトル・マイバッグ運動を推進されています。この運動の一環として市役所や市営施設に「ウォータースタンド」を設置しています。

●所沢市

所沢市は、「マチごとエコタウン所沢構想」の精神に基づき、ワンウェイ（使い捨て）プラスチックの使用量削減に取り組まれています。当社は市営施設に「ウォータースタンド」を設置し、「マチごとエコタウン所沢構想」の取り組みを後押ししています。

●京都市

京都市は、「京都市プラスチック資源循環アクション～プラスアクション12～」をとりまとめ、プラスチックごみの発生抑制を推進しています。当社は、京都市と連携協定を締結し、アクションの一環として「ウォータースタンド」を公共施設・民間施設などに「給水スポット」として設置し、この取り組みを推進しています。

●鎌倉市

鎌倉市は、「ゼロ・ウェイストかまくら」の実現を目指し3Rを推進されています。当社は市営施設などへ「ウォータースタンド」を設置し、この取り組みにご協力しています。

●取り組みに関連するホームページ

ボトルフリープロジェクト

（マイボトルを携帯し、給水を促すことで使い捨てプラスチックボトルを削減する取り組みを「ボトルフリープロジェクト」と称しています）→

<https://waterstand.co.jp/csr/bottlefree.html>



ウォータースタンドのミッションとビジョンに関する動画はこちらのQRコード・URLよりご覧いただけます。



<https://youtu.be/VsstFOIA6x4>